

授業改善プラン

1 年 教科 (美術)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
美術への 関心・意欲・態度	○どの生徒も自分なりに表現したい主題をもち、制作に取り組んでいる。 ▲期限内に仕上がらないなど、見通しをもつことや計画性に課題がある。	・毎時間のめあてや到達度を具体的に示す。 ・chromebook を活用した導入をおこなうことで、よりいっそう興味関心を刺激する。	・達成度を示すことで、見通しをもって制作に取り組むことができた。 ・chromebook を活用した導入は有効であったので、今後も続けていく。
発想や構想の能力	○自分なりにこだわりをもって表現することができる。 ▲アイデアを練ることに時間を使いすぎて、なかなか計画的に進められない生徒もいる。	・丁寧な聞き取りをして、一人一人の表現したいことを把握する。 ・進度が遅い生徒に関しては、放課後などに対応している。	・構想の時間をしっかりと確保することで、個々の思いを生かした作品作りができた。 ・アイデア構想を宿題にして前もって取り組ませることで、制作時間のずれを多少解消できた。
創造的な技能	○基本的な技能は身につけており、表現したいことを自分なりに表現することが出来る。 ▲より発展的な技能の深まりに関しては差がある。	・授業の中で、自分なりの表現を見つけている生徒を紹介し、全体で共有しながら進めていく。 ・生徒の表したいことに合わせて、個別に技法指導を行う。	・まわりの生徒の表現に刺激を受けている生徒もおり、製作途中に作品を共有する時間は今後も確保する。 ・1年生は2分割で授業展開が可能のため、個別指導が可能だった。
鑑賞の能力	▲美術史の学習は始まったばかりなので、鑑賞を計画的にすすめ、知識を身に付けさせる。	・3年間を見通した鑑賞計画を具体的に立て、計画的にすすめていく。	・美術史の学習を計画的に進められた。
授業改善の検証方法	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	小学校で学んだ基礎的な技能を確実に身に付け、発展させられる題材を設定した。	○レタリングや色使い、透視図法など計画的に習得した。 ▲既習事項の活用には個人差がある。	中学校にあがり、専門的な技能を身に付けることができた。次年度は表現の深まりを重点に指導していく。

授業改善プラン

2年 教科 (美術)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
美術への 関心・意欲・態度	○自分なりに工夫を考えて制作に取り組むことができる生徒が多い。 ▲時間内に仕上げられない生徒がいる。	・授業のたびに達成度を具体的に明確にし、早い段階でまわりに追いつけるよう指導していく。 ・chromebookを活用した導入をおこなうことで、よりいっそう興味関心を刺激する。	・達成度を示すことで、見通しをもって制作に取り組むことができた。 ・chromebookを活用した導入は有効であったので、今後も続けていく。
発想や構想の能力	○表現したい主題を一人一人がもち、与えられた材料やテーマの中で工夫を考えることができる。 ▲考えたことを形にすることが難しい生徒がいる。	・制作前のアイディアシートに時間をとり、じっくりと構想を深められる場を作る。 ・chromebookを活用し、参考資料を集めさせながら助言を行う。	・構想の時間をしっかりと確保することで、表現の深まりが見られた。また、chromebookの導入により、参考にする資料をすぐに調べられることで、表現の幅が広がった。
創造的な技能	○二点透視図法や明暗を意識した色づくりなど進められている。 ▲絵画表現の技能は高まったが、立体表現については個人差がある。	・自分なりに工夫して道具の使い方や表現をしている生徒を授業の中で取り上げ、工夫を全体で共有する。	・授業の初めに作品を見合うことで、意欲を高めて制作に取り組みせることができた。 ・絵画だけでなく、立体も取り入れ、幅広く教材を扱うことで、生徒の表現の幅が広がった。
鑑賞の能力	○印象派やピカソなど西洋美術の大まかな知識を身に付けた。 ▲日本の美術について今後は学習を計画的に進める。	・3年間を見通した鑑賞計画を具体的に立て、計画的にすすめていく。	・美術史の学習を計画的に進められた。
授業改善の検証方法	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	身に付けた技能を基に、自分なりの表現を追求する課題設定をした。	○デザイン構成の知識、透視図法、レタリングなど幅広い知識と技能を身に着けた。 ▲技能の差を小さくすることが課題である。	基礎的な技能が見についたので、個々での表現の深まりが見られた。また、学級全体として作品の完成度が上がったことも成果である。今後も充実した制作が期待できるので、さまざまな題材を扱っていく。

授業改善プラン

3年 教科 (美術)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
美術への 関心・意欲・態度	○絵、染色、陶芸などどの題材にも興味もち、意欲的に取り組む生徒が多い。 ▲進度に差が出やすい。	・毎時間のめあてや到達度を具体的に示す。 ・授業計画の中に身に付けるべき技能も入れることで目標や見通しをもって授業に臨めるようにする。 ・chromebookを活用した導入をおこなうことで、よりいっそう興味関心を刺激する。	・さまざまな素材を授業で扱うことで、美術への興味関心を高めることができた。また、達成度を示すことで、進度の差がなく時間内に仕上げるできるようになった。
発想や構想の能力	○いろいろなことを思いつき、発想することに前向きである。 ▲思いついたことからすぐに形にするので、あまり試行錯誤や深まりが見られにくい。	・自分たちの発想をどう形にしていくか、なるべく具体的な計画を示したり、よりそって支援していくことで、納得のいく作品作りができるようにする。	・具体的な手順を示すことで、見通しをもって制作に取り組むことができた。
創造的な技能	○いろいろな材料や道具を使うことに興味がある。 ▲基本的な道具の扱いは身に付いているが、表現技法の幅が狭い。	・簡単な技法から段階的にレベルアップできるように、小課題を設定して活動させる。 ・chromebookを活用し、技法など動画で見て細かいところまで確認できるようにする。	・小課題の取り組みにより、全員が確実に基礎的な技能を身につけてから本制作にうつることができた。
鑑賞の能力	○日本の伝統美術について知識を深められた。 ▲感じたことなどを文章にすることが難しい生徒がいる。	・chromebookを活用した鑑賞活動を取り入れる。(相互鑑賞や、美術史の知識理解など)	・chromebookにより、図版などを自分で拡大しながら鑑賞でき、興味を高めることができた。
授業改善の検証方法	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート	授業での取り組み、作品、ワークシート、アンケート

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	義務教育最後の美術教育として、生徒の視野を広げるために、日本の伝統を意識したカリキュラムを編成した。	○陶芸や染色など幅広い技能を身に付けた。 ▲美術史の知識を現代美術まで広げる。	さまざまな題材を扱うことにより、興味関心を高められた。卒業後、どこかで美術館に行くなど、生涯にわたり美術を愛好してほしい。